

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 9月27日更新

事務事業名	女性連絡協議会活動運営支援事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連		
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	総務部	課長名	中島正剛
	施策	23	人権が尊重される社会づくり			所属課	総務課	担当者名	高野和子
	基本事業	78	男女共同参画推進活動の実践			所属班	総務・男女共同参画班	(内線)	1217
予算科目	会計一般	款2	項1	目15	事業連番10912	法令根拠	合志市女性連絡協議会事業補助金交付要綱		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)			
								成果優先度評価結果	: ①
								コスト削減優先度評価結果	: ⑥

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	男女共同参画社会づくりの推進を目的として、「合志市女性連絡協議会事業補助金交付要綱」に基づき、合志市の女性団体・グループ等で構成する当会の事務所の管理運営に関する経費や研修および活動に係る経費に対して補助を行う。また、当会が主催する講演会等に市が共催し、協力することにより、男女共同参画や地域に根ざしたまちづくりの推進に共に取り組む。平成13年に旧合志町の女性議員(男女共同参画推進懇話会会長)が、大津町の女性連絡協議会にならい、当会を設立した。
【業務の流れ】	補助金の支出、イベント等の準備・協力
【主な予算費目】	補助金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	旧西合志町の団体・個人の加入を意識して働きかけてはいるが、まだ10数団体と少ない。今後も更に活発に働きかけ、「合志市」の女性連絡協議会として活動していきたい、との意見が(会員から)出されている。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分: 24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) ・平成23年度と同様。ただし、繰越金が多いこと、収益事業を実施していること等の実情に鑑み、平成25年度より補助金の半減を予定(セラヴィ事務局承諾済み)。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) → ア: 補助金額 イ: 千円	予算の主な増減の理由
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 女性連絡協議会まちなっと“セラヴィ”	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) → ア: 活動が活発にできるようになったと感じる イ: 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 男女共同参画社会の推進を含めた地域づくり活動が、活発にできるようになる。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) → ア: 活動が活発にできるようになったと感じる会員数 イ: 人
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠 男女共同参画社会の推進を含めた地域づくり活動が、活発にできるようになることがこの事業の意図であるため、この会の活動が活発にできるようになったと感じる会員数を成果指標とした。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	21年度 実績(決算)	22年度 実績(決算)	23年度 目標(当初予算)	23年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	25年度 予定	26年度 見込	27年度 見込
① 活動指標	ア	千円	360	360	360	360	360	360	360	360
	イ									
② 対象指標	ア	人	1	1	10	10	10	10	10	10
	イ									
③ 成果指標	ア	人	23	23	23	0	23	23	23	23
	イ									
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	360	360	360	360	360	360	360
	(A) 事業費計	千円	360	360	360	360	360	360	360	
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	正規職員従事人数	人	2	4	2	3	2	2	2	
	延べ業務時間	時間	200	38	200	130	200	200	200	
	(B) 人件費計	千円	796	156	824	524	824	824	824	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,156	516	1,184	884	1,184	1,184	1,184	

事務事業名	女性連絡協議会活動運営支援事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	-----------------	-----	-----	-----	-----

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 毎月運営委員会を開催しているので、そこで自分達が何をやりたいか論議し、計画的に実施されれば達成される。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 加入団体等を増やし、実施する活動事業等により多くの市民が参加することで、成果を向上させる余地はある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似の目的を持つ団体はない。ただし、市の主催事業との統合の余地はある
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 施設管理費を中心とした経費に対して補助金を出しているが、繰越金が多く、収益事業も実施していることなどから、平成25年度より予算(補助金)の半減を予定。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 業務内容は、補助金の申請・交付事務や、イベント時の手伝いであり、最低限の業務である。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 当会は全市民を対象に活動を行っており、公平・公正であると考え。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市としては、補助金の支出事務や活動の協力・助言等であるため適正である。

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

各種の地域づくり活動を展開し、地域活性化という目的に関しては大きく寄与した。併せて、東日本大震災被災地支援の活動なども行い、幅広く社会貢献している。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																					